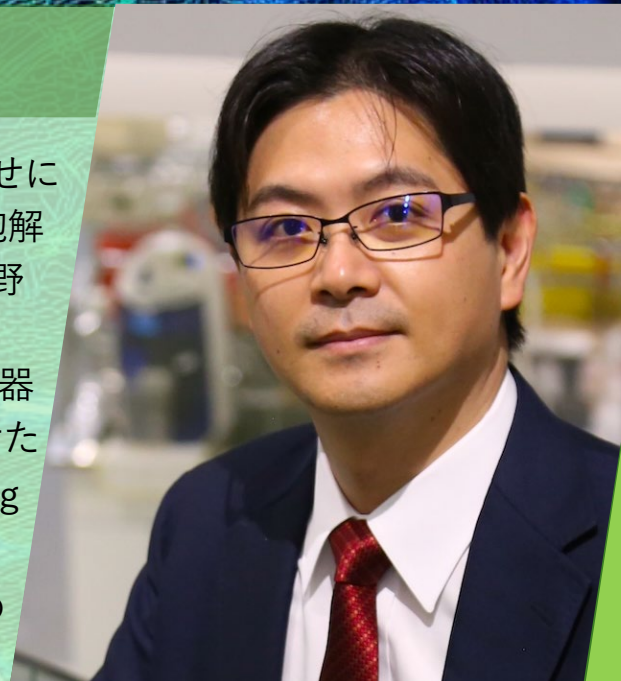


# 生体組織の3次元空間情報を用いた オミクス技術の開発と医学生物学応用

Development of Omics Technologies Using Three-Dimensional Spatial  
Information of Biological Tissues and Their Applications in Medical Biology

ライトシート顕微鏡と組織透明化技術の組み合わせにより、臓器全体や動物全身の3次元組織構造を細胞解像度で観察可能となった。講演者は早期から本分野への貢献に取り組み、世界最高性能の組織透明化、3次元組織染色、高速ライトシート顕微鏡観察、臓器スケールの細胞ネットワーク情報解析を組み合わせた **CUBIC** (Clear, Unobstructed Brain/Body Imaging Cocktails and Computational Analysis) **技術**を開発。CUBICは細胞単位で構成される組織・臓器の網羅的な空間情報（空間コンテキスト）を収集・解析するオミクス技術の一つと位置付けられる。本講演では**CUBIC技術**を中心とした**組織透明化・3次元組織イメージング技術の概説**、**セルオミクスを用いた全細胞空間コンテキスト解析**、神経科学やがん研究を含む**医学生物学的応用**、さらに多数の分子発現を空間的に解析する**3次元空間オミクスの展望**について紹介・議論する予定である。



洲崎 悦生 先生

順天堂大学大学院医学研究科  
生化学・生体システム医科学 主任教授

**SUSAKI A. Etsuo, M.D., Ph.D.**  
Professor, Department of Biochemistry and  
Systems Biomedicine,  
Juntendo University Graduate School of Medicine

開催日: 2025年 11月 5日 (水)

Date: Nov. 5, 2025 (Wed.)

時間: 17:00 - 18:00

Time: 5:00 - 6:00 p.m.

場所: がん進展制御研究所  
4F会議室

Venue: 4F Meeting Room,  
Cancer Research Institute

※ The seminar will be conducted in Japanese with English presentation slides.

Participants can engage in Q&A in either Japanese or English.